

六甲山 着々と「冬化粧」

スノーパークで造雪

神戸市灘区のスキー場「六甲山スノーパーク」で造雪作業が進んでいる。12月4日の営業開始に向け、緑のゲレンデに真っ白な人工雪が少しずつ広がっている。

作業は、砕氷機で小さくした氷をホースで勢いよくゲレンデにまく。24時間フル稼働で、計約7200トンの人工雪を積もらせる。

神戸や大阪など都心部から近く、毎年家族連れや若者でにぎわう。2019年度は約13万5

千人が訪れたが、20年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で約6万9千人に半減した。担当者は「今年は4月にアスレチックパークが開園した。冬も大自然での遊びを満喫してほしい」と意気込んだ。

(秋山亮太)



ゲレンデを白く染めていく人工雪＝5日午後、神戸市灘区六甲山町



動画は
コチラ